



# 病院NEWS

no.  
367  
2015  
01/01



The Hospital News.Faculty of Medicine Kagawa University



香川大学 医学部附属病院 香川県木田郡三木町池戸1750-1 発行人/病院長 横見瀬 裕保

## 年頭所感

病院長 横見瀬 裕保

2015年の初頭に当たり、皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

香川大学医学部附属病院は、昭和58年10月に香川医科大学医学部附属病院として開院し、平成15年10月の香川大学との統合を経て、一昨年開院30周年を迎えました。本院の基本理念「患者さんの権利を尊重し、良質な医療を提供するとともに、医学の教育・研究を推進し医療の発展に寄与する。」のもと、県下唯一の大学病院・特定機能病院として地域医療を支えるとともに、最良・最新の医療の開発、提供を目指してきました。また強い意志を持った優秀な医師を持続的に地域に供給することも我々の重要な努めと考えています。

本院は香川県災害拠点病院、県がん診療連携拠点病院、エイズ治療拠点病院、肝疾患診療連携拠点病院、認知症疾患医療センターなど、地域における拠点となって病院機能強化を行ってきました。また香川県、高松市からの御支援で、感染症、神経難病、精神神経疾患の寄附講座を開設し、幅広い地域診療を行っています。また、小豆島医療再建に向けた取組を、強い使命感を持って進めていきます。

高度救急医療、質の高いがん診療、患者さんの療養環境の充実を目的として、昨年6月に新病棟（南病棟）を稼働しました。それに伴い患者さんに分かりやすい診療体制を目指して30診療科に再編成しました。新病棟1階は全フロアが救命救急センターとなりました。救急玄関、初療室、CT、MRI、血管造影施設、病室が直結した機動性の高いセンターです。新造されたヘリポート、大容量の自家発電施設とともに、小高い丘陵地にある本センターは大震災、津波に対する地域防災医療の砦となるべく設計されています。「すべての救急車に対応する。」を目指して、日夜奮闘しています。

高度の最新医療の提供を目指し、手術支援ロボット（da Vinci）、高精度放射線治療システム、3.0T-MRI等、最新の医療機器の整備を行ってきました。また昨年9月からは、ロボット手術、血管造影可能なハイブリッド手術、MRI可能なナビゲーション手術対応の新技术棟を新造しています（手術室が10室から12室に増加）。これにより手術数の増加とともに、最新手術を提供できるようになります。

「患者中心の医療の推進」「良質な医療の実践」「理念達成に向けた組織運営」が評価項目となる病院機能評価（第三世代 Ver.1.0）を受審し、昨年5月2日に認定されました。地域に根ざし、安心・安全、信頼と納得の得られる質の高い医療サービス提供を目指します。

香川大学医学部附属病院は高松市内から離れており、我々が行っている医療が十分理解されていない可能性があります。そこで高松市内で本院が行っている最新医療についての市民公開セミナーを行うこととしました。我々の病院の最新施設、高度先進医療、最新医療などについて定期的に情報発信します。場所、日時などについてはホームページなどに掲載します。「いつも近くにいる香川大学医学部附属病院」を目指します。

最後に、昨秋からの新技术棟工事に続き、本年からの東西病棟改修工事、中央診療棟改修工事、外来診療棟改修工事が予定されています。これらの工事は本院のさらなる発展、患者さんへの良質な医療の提供につながると確信しております。工事中は皆様にご迷惑をおかけすることになりますが、よろしくご理解、ご支援をお願いいたします。

## 循環器内科 科長就任挨拶

診療科長 大森 浩二

### 適確な循環器チーム医療を実践します

この度、県内唯一の特定機能病院である当院の循環器内科長を拝命し、身の引き締まる思いです。

循環器内科は、抗加齢血管内科、心臓血管外科と共に、新南病棟3階の心臓血管センターを構成し、心臓・血管疾患の内科的診療を担当しています。例えば、一刻を争う急性心筋梗塞や急性心不全は、救命救急センターと連携し、PCI（冠動脈の風船 - スtent治療）や補助循環などの高度の技術と、設備とスタッフが整ったCCUで24時間対応しています。さらに、PCIが適さない冠動脈疾患や薬が無効の弁膜症などは心臓血管外科と、下肢動脈狭窄や静脈血栓症は血管内科と、それぞれ共同で診療します。当科は不整脈診療を専担します。頻拍症や心房細動などはカテーテルアブレーションで根治を目指し、病的徐脈にはペースメーカ、さらに、致死性不整脈や難治性心不全にも特殊なペースメーカを植込みます。

これらの治療は、丁寧な診察と、心エコーからカテーテル検査、心臓PETにいたる詳しい検査を基に提案され、患者様のご希望に沿って行われます。

専門外来は、月～金曜日です。専門診療が済めば通常、紹介元に逆紹介します。当科では、熱い熟練プロフェッショナルたちと、それを目指す若い医師たちが、心臓血管センターを舞台に日々頑張っています。ご愛顧、ご支援を宜しくお願いいたします。



## 神経内科 科長就任挨拶

診療科長 出口 一志

### 私たちの目標は「治る神経内科」です



神経内科は、人間の思考、運動、感覚などを司る脳、脊髄、末梢神経、筋肉におこる病気を取り扱う内科の一分野です。中でも人口の高齢化に伴う神経細胞の変性疾患や生活習慣の欧米化に伴う自己免疫性の神経疾患は年々増加しており、脳神経の病気は現代病の側面を有していると言えます。

患者数が増えれば研究も進歩するのが常ですが、神経疾患も「治らなかった」時代から「治る」時代へと大きな転換期を迎えています。例えば、変性疾患の代表格であるパーキンソン病では、2011年以降に7種類の新薬が使用可能となりました。これらの薬剤は、脳内の神経活動を正常に近い状態まで回復させる可能性を有しています。また、iPS細胞の神経疾患への臨床応用はパーキンソン病から始まるとされ、将来的には完治も期待されます。

自己免疫疾患の代表格としては多発性硬化症や重症筋無力症などが挙げられます。これらの疾患は、一昔前までなら長期的な予後予測ができませんでしたが、優れた疾患修飾療法の開発により早期の寛解導入のみならず、後遺症を残さない治療に近い状態も期待できるようになってきました。

神経系の疾患には希少な疾患も多く含まれ、まだまだ未知の領域が多いことは事実ですが、診断法や治療法は日々着実に進歩しています。香川大学神経内科は、有効性や安全性の確認された最善の治療を提供するだけでなく、最新の治療も取り入れた「治る神経内科」を目標に前進していきたいと考えています。

## 小児のてんかんとは

小児科 助教 小西 行彦

てんかんとは、脳の中の神経細胞が興奮し、それが発作となってあらわれる病気です。電気回路がショートしたようなもので、そのせいでさまざまな症状を起こします。現在日本では人口の約1%の人がてんかんで悩んでいるといわれています。子どもから高齢者まで、どの年代の人にも見られますが15歳以下と65歳以上の年代で発病が高いといわれています。

てんかんの発作にはさまざまな種類があり、一般的に知られているような「泡を吹いて倒れてけいれんする」というような激しいものもあれば、ポーっとして呼びかけても返事をしないような発作や、突然目の前に光が見えるたりする発作などもあります。また、てんかん発作は繰り返しおこることが特徴です。そのため、1回だけの発作では、普通はてんかんという診断はつけられません。てんかんの診断のために行われる検査には脳波や画像検査などいろいろな検査があります。

てんかんの治療は、薬の内服による治療が主流です。抗てんかん薬は、脳の神経細胞の電氣的な興奮をおさえたり、興奮が他の神経細胞に広がらないようにすることで発作をおさえる薬です。少し前までは海外では使用されていて、効果が高いことも証明されていた薬が日本では使用できないといったことがありました。しかし最近になってそういった薬のいくつかが日本でも使用できるようになりました。小児のてんかんには様々な種類があり、それに合わせて薬を選びます。今では80%の患者さんが、適切な薬物治療によって発作を起こすことなく生活されています。

薬物治療以外にも生活リズムを整え、暴飲暴食・睡眠不足を避け、健康的な生活を送る、勝手に服薬を中断しないなどが重要です。てんかんを持つ子どもたちの治療の目標は、発作を抑えるだけでなく、家庭や学校における生活の質を高めることです。家庭内での生活指導では過度の制限を強いたりせず、学校行事などにも積極的に参加していくことが大切です。そのためには保護者と学校や幼稚園、私達医療者とが連携して自立に向けた援助を行っていくことが必要と考えています。

毎日新聞「四国健康ナビ」H25.4.10掲載

## 第7回 医学生と医師の卒後キャリア形成に関する情報交換会が開催されました

### ワーク・ライフ・バランス支援室

平成26年11月17日(月)午後6時より、標記情報交換会が臨床講義棟1階にて開催されました。

これは、香川県、日本医師会、香川県医師会、香川大学医師会ならびに本院の共催により、将来の医療を担う医学生や若手医師を対象に、今後のキャリア形成に役立ててもらおうと実施している情報交換会で、学内外から71名(うち学生32名)のご参加をいただきました。

今回は、本学の神経機能形態学 三木崇範教授にはスペシャル講演として4人のごどものお父さんとしての様々な取組や経験をお話しいただき、本院の井上聡子先生、横山勝教先生からはWLBに対する取り組みや、医師の仕事と生活について、ご自身のキャリアや育児の工夫などユーモアを交えながらお話いただきました。また、本院の泉川美晴先生から女性医師・医学生サポートネット「香川オリーブねっと」の紹介があり登録の呼びかけがなされました。

講演終了後は、引き続き参加学生と医師との懇談会が開催され、有意義な情報交換会となりました。



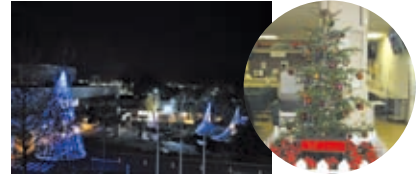


## 院外イルミネーション点灯

医事課

来院されるかた皆さまの心の安らぎになればと、病院玄関ホールにクリスマスツリーを、病院玄関前に電飾によるイルミネーションを飾っています。

12月1日(月)17:30～、病院玄関にてイルミネーション点灯式を開催しました。横見瀬病院長の挨拶の後、カウントダウンで点灯しました。なお、イルミネーションは12月1日(月)から、翌年1月9日(金)まで点灯しています。



## 第21回日本静脈麻酔学会開催報告

麻酔・ペインクリニック科 武田 敏宏、白神 豪太郎

2014年11月29日(土)、第21回日本静脈麻酔学会を当科担当のもとに、サンポートホール高松で開催いたしました。特別講演、教育講演3題のほか一般演題講演16題の構成で、全国より約120名の参加者が得られました。熱い議論が交わされ、大いに盛り上がる実り多い学会となりました。

なかでも、香川大学医学部 形態・機能医学講座 希少糖研究センター長 徳田雅明教授による特別講演「希少糖で創るhealthy life」では、希少糖のもつ抗炎症作用や血糖上昇抑制作用をはじめ、周術期管理への応用の可能性などについてご講演いただき、聴衆の注目を集めました。

会場近くの栗林公園では紅葉が見頃でしたので、多くの参加者が学会前後に訪れ、高松の秋を満喫しておられました。「うどん県、それだけじゃない香川県!」の一端を全国から参加していただいた麻酔科医の先生方に知っていただけたことと思います。



## 臨床研究に関するご案内

医学部倫理委員会委員長

医薬品等臨床研究審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院では、診療に伴って取得した患者さんの貴重な個人情報を含む記録や尿・血液等の検査試料、生検組織(内視鏡検査で検査のために採取した組織等)又は摘出組織等の試料が発生します。

それら記録試料等を本院は、医療機関としてだけでなく、教育研究機関として所定の目的に利用させていただきたいと思っておりますので、患者さんのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

前向き研究(研究を立案、開始してから新たに生じる事象について調査する研究)に患者さんの情報を利用する場合は、書面により患者さんの同意をいただくことといたします。後向き研究(過去の事象について調査する研究)の場合は下記URLに示しております。

利用目的の中に同意しがたいものがある場合は、1階外来ロビー内個人情報相談窓口または各診療科までお申し出ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用することに対して同意が得られたものとさせていただきます。

●臨床研究に関するご案内URL <http://www.med.kagawa-u.ac.jp/hosp/about/rinsyo/>

## イベントカレンダー H27.1月～3月 予定表

月日	時間	場所	名称及び内容	担当	連絡先
H27.1/16 金	14:00～16:00	病院地下1階 患者図書室 オリーブの郷	がん患者サロンセミナー	がん相談支援センター	(087)891-2473
2/2 月	18:00～20:15	病院地下1階 カンファレンスルーム	第9回都道府県がん診療連携拠点病院研修セミナー 在宅緩和ケアに関する研修	中核病院機能強化支援室	(087)891-2452
2/18 水	14:00～15:30	病院地下1階 患者図書室 オリーブの郷	肝臓病教室	地域連携室	(087)898-2417
2/20 金	18:00～19:30	病院地下1階 カンファレンスルーム	在宅支援の会～Frogの会～研修会	地域連携室	(087)898-2417
2/28 金	9:30～16:30	アルファあなふきホール小ホール5階 多目的大会議室(玉藻)	第14回緩和医療に関する集中セミナーin香川	腫瘍センター	(087)891-2075
3/9 月	(未定)	臨床講義棟2F	第7回認知症疾患医療センター研修会	中核病院機能強化支援室	(087)891-2452
3/20 金	14:00～16:00	病院地下1階 患者図書室 オリーブの郷	がん患者サロンセミナー	がん相談支援センター	(087)891-2473

平成27年度

## 看護職員募集

看護師・助産師

80名募集

受付期間

平成26年7月1日(火)～  
平成27年1月13日(火)

試験日

応募締切日

7月19日

7月8日

8月22日

8月12日

10月24日

10月14日

11月28日

11月18日

平成27年1月23日

平成27年1月13日

お問合せ先 087-891-2013(医学部総務課人事係)

編集委員会 (50音順)

荒井(検査)、一條(経営)、岡田(総務)、  
加藤(放射線)、白神(麻酔)、中妻(看護)、  
濱本(外来)、芳地(薬剤)、松本(看護)、  
村上(病棟)、安友(管理)、横井(情報)、  
吉野(医事)

[委員長 横見瀬病院長]